

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	100	担当課等	地域政策課									
事務事業名	男女共同参画推進事業											
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	06	事業開始年度	平成	11	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P147 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と協働のまちづくり	II 協働によるまちづくりの推進	2 人権意識の啓発	(2) 男女共同参画社会の実現	(5) 男女共同参画のまちづくり
関連する個別計画	ゆがわら男女共同参画プラン				
目的	男女の実質的平等をめざし、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進する。				
対象	町民				
内容	男女共同参画講演会を開催。ゆがわら男女共同参画懇話会を必要に応じ開催。また、ゆがわら男女参画推進本部を庁内に設置、男女共同参画を推進している。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	540,288	45,729	165,000		
コスト 人件費	常勤職員	0	0	0		
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
総事業費	540,288	45,729	165,000			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	540,288	45,729	165,000		
	財源合計	540,288	45,729	165,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
講演会開催	開催数		回	1	1	1
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
講演会開催	参加人数		人	69	23	70

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A ゆがわら男女共同参画推進本部の設置及び運営に関する要綱により、町が実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 前回調査時に比べ、講演会の参加数が減少している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 審議会への女性の登用比率や湯河原町職員の女性管理職への登用比率が増えてきている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 講演会の対象に制限がないが、どうしても内容が偏る傾向となる。

平成27年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	講演会について、多くの住民が興味を示す講演内容とすることを検討し、様々な媒体を利用した広報を行い、参加を促すとともに、ポスターやチラシを用いて啓発を行う。
平成29年度以降の方向性	国、県の計画や制度の改正等を踏まえ、ゆがわら男女共同参画プランに沿って引き続き男女共同参画の推進を行う。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・講演会のテーマは、多くの意見を参考に決めること。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	150	担当課等	地域政策課									
事務事業名	旧福浦幼稚園跡地整備事業											
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	06	事業開始年度	平成	26	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(1) 適切な土地利用 の推進	① 計画的な将来都市空 間構造の実現
関連する個別計画	なし				
目的	地域住民の利便性向上及び地域の防犯体制の強化。				
対象	町民				
内容	旧福浦幼稚園跡地の駐車場に設置した公衆トイレ及び防犯カメラ等設備の維持管理。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	1,836,000	5,508,000	144,000		
	人件費	常勤職員	989,850	627,080	92,526	
		非常勤職員等	0	0	0	
		人件費合計	989,850	627,080	92,526	
	総事業費	2,825,850	6,135,080	236,526		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	2,825,850	6,135,080	236,526		
	財源合計	2,825,850	6,135,080	236,526		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
施設点検回数	環境整理	回数	—	—	12	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	地区の防犯体制強化のため必要。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	利用者を増やすことで、さらに効率性を高める余地がある。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	公有地として一定程度活用できているが、今後さらなる有効活用を図る必要がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	福浦区の新たな避難場所として担うことにより、受益の機会は均等となる。

平成27年度までの改善点	平成27年度に公衆トイレと防犯カメラ・屋外時計を設置した。
--------------	-------------------------------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	公衆トイレに係る維持管理を行っていく。
平成29年度以降の方向性	今後跡地の更なる有効活用として、防災に係る避難場所としての機能充実に向けて検討していく。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	160	担当課等	地域政策課							
事務事業名	地方版総合戦略推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	06	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P54 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と協働のまちづくり	II 協働によるまちづくりの推進	1 町民参加	(1) まちづくりへの町民参加の推進	① 各種計画への町民参加促進
関連する個別計画	なし				
目的	地域版総合戦略の運用				
対象	町及び関係団体				
内容	まち・ひと・しごと創生法により、平成27年度に策定した湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プランの運用にあたり会議を開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費		4,939,274	142,000		
	人件費	常勤職員		313,540	123,368	
		非常勤職員等			0	
	人件費合計		0	313,540	123,368	
	総事業費		0	5,252,814	265,368	
財源内訳	国庫支出金		4,939,274	0		
	県支出金			0		
	地方債			0		
	その他特定財源			0		
	一般財源	0	313,540	265,368		
	財源合計		0	5,252,814	265,368	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
総合計画審議会の開催		審議会による計画の審議	回		5	2
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	人口減少に対する施策を検討する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	事業について、自立性を確保できることを検討する必要がある。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	中期的な戦略を再検討する必要がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	町全体に関わることであるため、受益は均等である。

平成27年度までの改善点	平成27年度では、湯河原町人口ビジョン及び総合戦略プランの策定を行った。
--------------	--------------------------------------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	総合戦略プランに掲載した事業について、PDCAサイクルに沿った検証を行う。また、国の交付金を獲得できるよう必要に応じ、総合戦略プランの修正を行う。観光DMOの設立を検討していきたい。
平成29年度以降の方向性	総合戦略プランに掲載した事業について、PDCAサイクルに沿った検証を行う。また、国の交付金を獲得できるよう必要に応じ、総合戦略プランの修正を行う。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	総合戦略プランの見直しを行う。
------	---------	-----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・PDCAサイクルの検証を標準化する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	総合戦略プランの見直しを行う。
------	---------	-----------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月1日作成

事業番号	160	担当課等	地域政策課							
事務事業名	メール配信サービス事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	09	事業開始年度	平成 18 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P145 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなで作る自立と協働のまちづくり	I 開かれた行政の推進	2 広報広聴	(1) 広報広聴活動の充実	① 広報機能の充実
関連する個別計画	なし				
目的	町からの住民に向けた情報発信を目的とする。				
対象	メールマガジンを登録した住民				
内容	「湯ったりトーク」、「防災・防犯情報」、「暮らしのお知らせ」、「湯河原温泉だより」を配信する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	803,520	959,040	959,040		
	人件費	常勤職員	0	0	0	
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	0	
	総事業費	803,520	959,040	959,040		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	803,520	959,040	959,040		
	財源合計	803,520	959,040	959,040		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 町長からのメッセージや災害情報等、町でなければ発信できない。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A メールマガジンの有効登録アドレス数は約2,000件あり、一件あたりの費用が約480円となるので妥当と思われる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A メールマガジンの会員数は増加傾向にあり、住民からの需要は堅調だと考えられる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A インターネット環境のある住民ならば誰でもメールマガジンを受信できる。

平成27年度までの改善点	平成26年度から緊急情報提供サービス(気象警報などの有事の情報)を開始した。 また、保育園から保護者への連絡にも、メールマガジンが活用されている。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	メールマガジンの登録者が増やすため、観光情報・町情報の配信を増やす。
平成29年度以降の方向性	メールマガジンの内容を住民により興味を持っていただけるものにしていくよう努める。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	運用において、町イベント・観光情報の配信数を増やす。
------	---------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	運用において、町イベント・観光情報の配信数を増やす。
------	---------	----------------------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月1日作成

事業番号	180	担当課等	地域政策課							
事務事業名	Wi-Fiスポット整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	09	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P120 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	V 交通通信網の整 備	3 情報化	(1) 地域情報化の推 進	(2) 公衆無線LANの整備
関連する個別計画	なし				
目的	手軽に無料でインターネットにアクセスできる環境を整備することを目的とする。				
対象	住民及び観光客				
内容	町内各所にWi-Fiスポットを整備する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費		1,155,644	770,796		
	人件費	常勤職員		123,368	0	
		非常勤職員等			0	
		人件費合計	0	123,368	0	
	総事業費	0	1,279,012	770,796		
財源内訳	国庫支出金		1,155,644	0		
	県支出金			0		
	地方債			0		
	その他特定財源			0		
	一般財源	0	123,368	770,796		
	財源合計	0	1,279,012	770,796		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
Wi-Fiスポット数			箇所		15	25
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
接続回数(利用数)			回/年		8,000	40,000

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	B	公共施設等には町が設置する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	C	利用頻度が少ない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	C	利用頻度が少ない。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	全町的に設置している。

平成27年度までの改善点	接続時間が、連続15分(1日2回)とされていたが、事業者の接続方針の変更により、連続1時間(回数は無制限)となった。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	町内の各地域会館にWi-Fiスポットを整備する。
平成29年度以降の方向性	町内のWi-Fiスポットを整備できる新たな場所を検討する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	観光客に対し、Wi-Fiスポットの存在を知らせる仕組みを充実させる必要がある。
------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> •Wi-Fiスポットでは、民間と連携した拡充を検討するべき。 •観光戦略との整合性、いずれは費用効果を検証すべきである。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	観光客に対し、Wi-Fiスポットの存在を知らせる仕組みを充実させることで点となっているスポットを面でみせる必要がある。
------	---------	---

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月1日作成

事業番号	190	担当課等	地域政策課							
事務事業名	街歩き情報配信サービス促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	09	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	(2) インターネットを使った観光情報提供の充実
関連する個別計画	なし				
目的	観光用のスマートフォンアプリにより、観光客が湯河原町内の観光名所や食事処等に訪れやすくなり、観光振興を図る。				
対象	湯河原を訪れる観光客				
内容	スマートフォンアプリ「ココシル」を導入、運用するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費			9,936,000		453,600
コスト 人件費	常勤職員			627,080		0
	非常勤職員等					0
	人件費合計	0	0	627,080	0	0
総事業費	0	0	10,563,080	0	453,600	
財源内訳	国庫支出金			9,936,000		0
	県支出金					0
	地方債					0
	その他特定財源					0
	一般財源	0	0	627,080	0	453,600
	財源合計	0	0	10,563,080	0	453,600
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
掲載店舗数			件			600
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
アクセス数			回/年			10,000

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	C	利用者数が少ない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	C	利用者数が少ない。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	観光客及び町民ができることから受益は均等といえる。

平成27年度までの改善点	スマホなどのタブレット端末で街歩き情報配信ができる「ココシル湯河原」を立ち上げ。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	店舗や観光スポットの情報を「ココシル湯河原」に登録する。また、「ココシル湯河原」の周知に努める。
平成29年度以降の方向性	「ココシル湯河原」に掲載する店舗や観光スポットをさらに増加させ、内容の充実を図る。「ココシル湯河原」のさらなる周知に努める。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	パノラマ機能を充実させる。
------	---------	---------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> 機能充実だけでなく、掲載数の拡充や観光客への周知に力を入れること。 観光戦略との整合性、いずれは費用効果を検証するべきである。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	機能充実のほか、掲載数の拡充・観光客への周知方法を検討する。
------	---------	--------------------------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	190	担当課等	地域政策課									
事務事業名	ボランティア推進事業											
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	11	事業開始年度	平成	15	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P146 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と協働のまちづくり	Ⅱ 協働によるまちづくりの推進	1 町民参加	(1) まちづくりへの町民参加の推進	(2) まちづくり団体の交流推進
関連する個別計画	なし				
目的	平成14年度に設立した「湯河原まちづくりボランティア協会」の活動を支援し、住民参加のまちづくりを推進する。				
対象	町民				
内容	観光をはじめ環境、図書、保育育児、イベント、放課後子ども教室などの各グループごとに活発な活動を実施する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	262,365	871,190	199,000		
コスト 人件費	常勤職員	1,154,825	1,097,390	1,079,470		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,154,825	1,097,390	1,079,470		
総事業費	1,417,190	1,968,580	1,278,470			
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	1,417,190	1,968,580	1,278,470		
	財源合計	1,417,190	1,968,580	1,278,470		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
住民参加	ボランティア協会員数		人	91	89	90
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
ボランティア活動	活動日数		日	724	801	365

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 独立した団体として活動するには、人員や予算が不足しているため、町で支援する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 事務用品や活動用品の購入を行っており、効果については十分である。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 町内におけるボランティアの需要が高く、活動も頻繁に行われている。また、年間10名程の入会者がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A ボランティアへの登録、活動の参加など特段の制約はない。

平成27年度までの改善点	活動に必要な備品等を充実させた。
--------------	------------------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	活動用ジャンパーなど活動用品の不足が目立ったため、ボランティアの意向を確認しながら補充を行う。
平成29年度以降の方向性	新規入会者の募集を行うとともに、積極的な活動の支援を行う。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	新規入会者を増やす策を講じる必要がある。
------	---------	----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・まちづくりボランティア会員にプライオリティを設けるような施策を検討する必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	新規入会者を増やす策を講じる必要がある。
------	---------	----------------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	110	担当課等	地域政策課									
事務事業名	夫婦の桜管理事業											
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	11	事業開始年度	平成	12	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	(5) 観光資源の発掘と情報の収集・提供
関連する個別計画	なし				
目的	平成12年度に植樹した幕山「夫婦の桜」を維持管理を行う。				
対象	夫婦の桜 会員				
内容	幕山「夫婦の桜」が台風などで倒伏した際に補植を行い、また、必要に応じて枝切り、伐採を行う。また、開花時期には会員に開花状況の案内を送付する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	0	194,724	100,000		
コスト 人件費	常勤職員	0	0	0		
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
総事業費	0	194,724	100,000			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	0	194,724	100,000		
	財源合計	0	194,724	100,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
植え替え	維持管理		本	1	2	1
修復	維持管理		本	2	3	2
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
維持本数	桜の維持		本	150	150	150

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 幕山公園内にある夫婦の桜は景観、施設管理的の視点からも町が整備する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	C 会員以外への認知がなく、夫婦の桜を目的として訪れる観光客などがほとんどいない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 維持管理できているが、土地が不適切なため、木が大きく成長しない。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 会員全員に開花状況を毎年お知らせしている。

平成27年度までの改善点	
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	必要に応じて、植え替え、枝切り、伐採を行う。事業の見直しについて検討していく。
平成29年度以降の方向性	植樹から15年経過することもあり、観光資源としての活用を含めた事業の見直しを検討したい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	「夫婦の桜」の位置付けは終了させ、観光資源として活用していく。
------	----	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・密植を改善するなど、新たな観光資源として活用できる整備が必要になる。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	「夫婦の桜」の位置付けを着地させ、新たな観光資源として活用することを検討。
------	---------	---------------------------------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	130	担当課等	地域政策課							
事務事業名	温泉場ぶらりお休み処運営事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	11	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	(1) 拠点観光スポットの整備・活用
関連する個別計画	なし				
目的	湯河原温泉の「おもてなしの心」を発信する拠点として、観光客が気軽に立ち寄ることができる無料休憩所「温泉場ぶらりお休み処」を運営する。また、地域住民の交流・活動スペースを兼ねた施設として活用する。				
対象	町民及び観光客				
内容	週3回温泉場地区を訪れる観光客の休憩スポットとして開放し、観光ボランティアが観光案内を行う。また、地域住民が交流する場として開放する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	757,649	766,703	755,000		
	人件費	常勤職員	98,985	94,062	92,526	
		非常勤職員等				
		人件費合計	98,985	94,062	92,526	
	総事業費	856,634	860,765	847,526		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	856,634	860,765	847,526		
財源合計	856,634	860,765	847,526			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年	目標値
開所日数		環境拠点スポットの活用	日	157	160	160
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
利用者数		観光情報の発信	人	1,111	899	2,000

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 観光客のための無料休憩所と地域住民の憩いの場を兼ねた多目的施設として町が運営する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 観光ボランティアの協力により、施設の運営費のみで観光拠点スポットとして機能を果たしている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	C 導入年度と比較して利用者数が減少傾向にある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 多目的施設として観光客及び町民が利用できることから均等である。

平成27年度までの改善点	無料WiFiを設置するにより、外国人旅行客の誘客につなげる。
--------------	--------------------------------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	利用状況を見ながら外装の改修等、施設の充実強化を図り、無料休憩所の開館日数、開館時間の拡張を図る。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・休憩所として、観光マップに掲載する等のPRが必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	120	担当課等	地域政策課									
事務事業名	防犯対策推進事業											
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	事業開始年度	昭和	37	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P97 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	1 防災・危機管理	(1) 防災対策の推進	(2) 自主防災組織の強化 と防災意識の醸成
関連する個別計画	なし				
目的	防犯活動団体への助成及び活動に対する補助。				
対象	小田原地方防犯協会湯河原支部及び防犯指導員協議会湯河原町連絡会				
内容	地域から推薦されている防犯活動を実施する者と共に町の防犯活動や啓発活動を実施する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	694,000	694,000	695,000		
	人件費	常勤職員	805,078	761,902	749,461	
		非常勤職員等				
		人件費合計	805,078	761,902	749,461	
	総事業費	1,499,078	1,455,902	1,444,461		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,499,078	1,455,902	1,444,461		
財源合計	1,499,078	1,455,902	1,444,461			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
防犯パトロールの実施回数	犯罪の抑止	回	24	37	24	
啓発活動の実施回数	防犯意識の向上	回	2	2	2	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
啓発活動の参加人数	防犯意識の向上	人	33	35	64	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	町の防犯体制強化ため防犯活動団体を補助すること必要。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	防犯パトロールや啓発活動の実施により、町内の犯罪発生や犯罪遭遇の減少につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	小田原警察署管内の実績ではあるが、犯罪認知件数が減少傾向にある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	犯罪発生を抑止することは、町民が安全で安心して暮らすことにつながる。

平成27年度までの改善点	凶悪犯罪が町内や近隣で発生した際に、臨時でパトロールしてもらうなど、柔軟な対応をお願いした。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	今後も、柔軟な対応を心がける。
平成29年度以降の方向性	防犯パトロールの強化などを検討する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	150	担当課等	地域政策課							
事務事業名	空き家対策推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P55 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	IV 地方創生の推進	1 地方創生	(1) 就労環境の整備	③ 空き家・空き店舗の活用
関連する個別計画	なし				
目的	空き家対策を推進するため、法に基づく空家等対策推進協議会の開催や、開催に伴い空家等対策推進計画の策定を実施する。				
対象	空き家所有者				
内容	空家等対策推進協議会の開催及び空家等対策推進計画の策定				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費			136,000		
	人件費	常勤職員			1,498,921	
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	1,498,921	
	総事業費	0	0	1,634,921		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	1,634,921		
財源合計	0	0	1,634,921			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
会議開催			回			2
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
空き家数の減少		所有者による除却や利活用による全体数の減少	件			未定

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	

平成27年度までの改善点	
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	空き家の把握及び利用可能な空き家の活用を検討する。
平成29年度以降の方向性	特定空き家の指定を行う。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・協議会で検討する項目及び概算スケジュールを検討する。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	空き家等対策計画の策定が必要。
------	---------	-----------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	100	担当課等	地域政策課								
事務事業名	総合防災訓練実施事業										
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P97 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	III 安全な暮らしの確 保	1 防災・危機管理	(1) 防災対策の推進	③ 自主防災組織の強化 と防災意識の醸成
関連する個別計画	湯河原町地域防災計画				
目的	災害に対する基本的な考え方である「自分(たち)の身は自分(たち)で守る」という観点から自助・共助の大切さを再認識していただき、災害に備える。				
対象	職員、自主防災組織、防災関連機関、町民				
内容	町職員訓練(情報伝達、安否情報確認、参集、防災対策本部設置運営、初動・応急対応) 町民実施訓練(避難行動、住民連携、要援護者確認、防災関係機関との連携訓練、津波避難)				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
	事業費	669,767		643,938		770,000	
コスト 人件費	常勤職員	6,440,624		6,095,218		5,995,685	
	非常勤職員等						
	人件費合計	6,440,624		6,095,218		5,995,685	
	総事業費	7,110,391		6,739,156		6,765,685	
財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
	県支出金	0		0		0	
	地方債	0		0		0	
	その他特定財源	0		0		0	
	一般財源	7,110,391		6,739,156		6,765,685	
	財源合計	7,110,391		6,739,156		6,765,685	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値		
訓練参加人数	町民・防災関係機関との 連携を図る	人	0	1,373	1,500		
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値		

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 自助・共助は町民自らが担い、公助は町など公的機関が担うものであることから町が実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 訓練を重ねることは、災害時の行動に繋がるとされている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 実災害を経験していないため、成果が得られているとは言い難い。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 町民に対する備えを図ることは、機会の均等が図られている。

平成27年度までの改善点	関係機関や自主防災組織の意見を取り入れながら、実効性のある訓練を実施した。
--------------	---------------------------------------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	自主防災組織からの訓練提案や、関係機関からの訓練提案を取り入れる。
平成29年度以降の方向性	今後も様々な意見を取り入れ、実効性の高い訓練の実施を目指していく。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・津波訓練の見直しが必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	110	担当課等	地域政策課								
事務事業名	救急医療資器材等購入事業										
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P106 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(2) 救急業務体制の 整備	(3) 救急資機材の整備
関連する個別計画	なし				
目的	避難所などにおいて、医師が扱える簡易な医療資器材を整備するもの				
対象	避難者(町民)				
内容	災害時において、避難所などで医師が軽度の怪我などの処置をする際に最低限必要な資器材を整備するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	2,030,400	740,880	202,000		
	人件費	常勤職員	161,016	152,380	149,892	
		非常勤職員等				
		人件費合計	161,016	152,380	149,892	
	総事業費	2,191,416	893,260	351,892		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	2,191,416	893,260	351,892		
	財源合計	2,191,416	893,260	351,892		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
簡易な医薬品セットの購入	簡易なセットであれば、 広く医師が扱えるため	セット		5セット	5セット	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 避難所において、医師が扱うことのできる医薬品を備蓄することは、町の防災備蓄上必要である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 簡易な備蓄セットを備蓄することで、コストを下げることができた。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 簡易な備蓄セットを備蓄することで、医師の扱える機会が広がった。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 広域避難所となっている町民体育館及び各小学校体育館に備蓄した。

平成27年度までの改善点	資器材を扱う医師会との協議を重ね、備蓄品の見直しを実施した。
--------------	--------------------------------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	
平成29年度以降の方向性	平成27年度に見直しを行ったことから、機会を見つけて今後も見直しを継続していく。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	保健センターと協同し、災害時緊急医療体制を構築する必要がある。
------	---------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・薬剤師会との災害協定について、内容の再点検を行い、新たな災害協定を締結する必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	保健センターと協同し、災害時緊急医療体制を構築し、その中で医薬品の備蓄を再検討する必要がある。
------	---------	---

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月20日作成

事業番号	150	担当課等	地域政策課							
事務事業名	FM放送緊急割込放送システム管理事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P97 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	1 防災・危機管理	(1) 防災対策の推進	④ 非常通信連絡網の整 備
関連する個別計画	なし				
目的	J-アラートで発信された緊急情報をFM放送中においても緊急割り込みするシステムを導入したもの				
対象	FM放送受信者(湯河原町民及び熱海市民)				
内容	災害発生時及び国民保護事態における緊急情報をFM放送中においても割り込み放送することで、いち早い情報の伝達をするもの				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	0	3,279,960	181,000		
	人件費	常勤職員		76,190	74,946	
		非常勤職員等				
	人件費合計		0	76,190	74,946	
	総事業費		0	3,356,150	255,946	
財源内訳	国庫支出金			0		
	県支出金			0		
	地方債			0		
	その他特定財源			0		
	一般財源	0	3,356,150	255,946		
	財源合計		0	3,356,150	255,946	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
システムの導入		システムを導入することにより、手動から自動放送へ		0	1	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	B	熱海市との共同負担によるもののため
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	

平成27年度までの改善点	J-アラートの緊急情報があった場合でも、手動により放送を実施しなければならなかったが、システム導入により自動割込み放送が可能になった。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	静岡県と神奈川県との緊急情報が同時に流れるため、緊急地震速報などの際の熱海市と湯河原町の震度の違いなどがあった場合への対応について、FM事業者と協議を継続したい。
平成29年度以降の方向性	FM熱海湯河原の認知度の向上を、機会のあるたびに周知していきたい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------